

平成22年度

札幌医科大学大学院医学研究科(修士課程)

## 学 生 募 集 要 項



札幌医科大学大学院医学研究科

<http://web.sapmed.ac.jp/>

## ご 挨拶

札幌医科大学大学院医学研究科は、平成 20 年度から新たに修士課程を設置し、4 年制大学を卒業した医学研究に志のある学生を受け入れ、本学医学研究科の教授陣が医学とその関連の学問分野について、高度な学識を教授し、とくに医学の応用分野へ指向した研究を行っています。これにより、高度な医学知識を身につけた医療従事者、あるいは研究者としての修士（医科学）を輩出することを目的としています。修了者は社会の医療現場で高度な医学知識を駆使して活躍することや、あるいは伝統ある札幌医科大学大学院医学研究科博士課程に進学してさらに医学研究を深めることが期待されています。

医学・医療を取り巻く社会情勢は激しい変革の時期にあります。超高齢化社会を迎え、国民の医療費は増大し続けています。一方、国民の医療に対する需要や期待はますます高まっています。人員、費用など様々な制限のある中で、国民の期待にこたえるためには、より高度な医療技術を開発し、それを効果的に医療現場に適用してゆく努力が、医学者、医療者に求められているといえます。本学の修士課程は、この社会的要求に呼応するものであり、医学を指向する若い学生が集い、その瑞々しい感性で医学を修め、新しい医学医療技術を展望するものです。

このような大学院生の研究の遂行をサポートするための設備も拡充しています。国内有数の情報設備をもつ附属総合情報センターには図書館と情報端末が整備されています。平成 11 年に完成された基礎医学研究棟を中心とした教育研究機器センターには先端の遺伝子研究に対応した各種設備がそろっており、いつでも使用できるようになっています。さらに動物実験施設部では遺伝子操作動物の研究が可能な体制を整えています。大学院生の研究遂行のための援助も充実させており、経済的サポートを受けられる制度も用意しています。

この要項を手にとられた諸君には、ぜひ、札幌医科大学大学院医学研究科修士課程に応募されて、新しい医学を切り開く若い力の一員となっていただきたいと願っております。本学が誇る教授陣の英知と若い力が一体となり、新しい修士課程の未来を担っていただきたいのです。意欲あふれる若者の応募を歓迎します。

2009 年 7 月

札幌医科大学大学院医学研究科  
研究科長 當瀬規嗣

# 目 次

<b>I</b>	<b>学生募集要項</b>	1~ 6
1	専攻と募集	1
2	出願資格	1
3	出願手続	1 ~ 3
4	外国人留学生の取扱い	3 ~ 4
5	試験日、試験科目及び場所	4
6	合格者の発表	5
7	入学手続	5
8	授業料	6
9	個人情報の取り扱いについて	6
10	書類の提出及び問い合わせ先	6
<b>II</b>	<b>医科学専攻の概要等</b>	7~14
1	分子細胞生物学	9
2	生体情報形態学	9
3	ゲノム医科学	9
4	分子医学・遺伝子治療学	9
5	臓器発生・再生医学	9
6	腫瘍免疫学	9
7	腫瘍病理学	10
8	臨床病態学	10
9	消化器分子制御医学	10
10	循環腎機能病態学	10
11	呼吸機能制御医学	10
12	呼吸循環機能治療学	11
13	視覚機能制御医学	11
14	皮膚・腫瘍制御医学	11
15	外科腫瘍学・消化器外科治療学	11
16	口腔機能治療学	11
17	医療人間学	12
18	環境保健予防医学	12
19	地域保健予防医学	12
20	法医学・アルコール医学	12
21	精神機能病態学	12
22	臨床疫学	12
23	分子解析学	12
24	分子医化学	12
25	放射線防護学	13
26	病態分子情報学	13
27	リハビリテーション学	13
28	整形外科学	13
29	中枢神経機能治療学	13
30	神経・筋機能病態学	13
31	健康行動科学	13
32	医療薬学	14
33	脳神経機能薬理学	14
34	生体危機管理学	14
35	放射線腫瘍学・放射線医学物理学	14
36	腎・尿路・生殖器治療学	14
37	脳神経機能学	14
38	細胞機能情報学	14
39	生体機能構造学	14
<b>III</b>	<b>出願関係書類様式</b>	

## 1 専攻と募集人員

医科学専攻 若干名（募集人員には社会人若干名を含む）

## 2 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします

- (1) 大学を卒業した者又は平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第68条の2第3項の規定により学士の学位を授与された者及び大学評価・学位授与機構に学士の学位授与を申請中の者
- (3) 外国において、学校教育法における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定したもの(昭和28年文部科学省告示第5号)
- (5) 学校教育法施行規則第70条第1項第5号に基づき指定された専修学校の専門課程を、文部科学大臣の定める日以降に修了した者及び修了見込みの者(平成18年文部科学省告示第87号)
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (8) 本学大学院が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月までに22歳に達する者

**※ 注** (7)、(8)により出願しようとする者は、事前に出願資格の認定が必要となりますので、「3 出願手続 (3)出願資格の認定」による申請をしてください。

## 3 出願手続

- (1) 出願期間

**前期試験** 平成21年8月3日(月)から平成21年8月14日(金)まで

**後期試験** 平成22年1月4日(月)から平成22年1月15日(金)まで

午前9時から午後5時まで。ただし、土曜、日曜、祝日を除く。

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院医学研究科(修士課程)出願書類在中」と明記の上、出願期間内に必着のこと。

(2) 出願書類

① 入学願書	本学所定の用紙を使用してください。
② 卒業(見込み)証明書	最終学歴のもの(大学評価・学位授与機構に学位を申請中の者は、学位授与申請受理証明書)を提出してください。
③ 成績証明書	最終学歴のもので、厳封されたものを提出してください。
④ 志望理由書	本学所定の用紙(様式)により提出してください。
⑤ 健康診断書	本学において、受験の際に特別な配慮が必要であるかを判断するため、次の要件に該当する者は、本学所定の用紙により健康診断書を提出してください。 ア 両眼矯正視力の和が0.08以下の者及び失明にいたる重篤な眼疾患を有する者 イ 両耳の聴力レベルが90デシベル以上の者 ウ 上記以外で、受験上、特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者
⑥ 受験票・写真票	本学所定の用紙を使用し、写真(3ヵ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの縦4cm×横3cm)を貼付してください。
⑦ 外国人登録済証明書・パスポートの写し	現に日本に在住している者は、市区町村長の発行する外国人登録済証明書(在留資格が明示されているもの)を提出してください。 国外からの出願者は、パスポートの写しを提出してください。
⑧ 返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定型封筒(長形3号)に志願者の氏名及び送付先住所を記入し、240円切手を貼付してください。 (速達を希望する場合は、さらに270円切手を貼ってください。)
⑨ 入学検定料	<b>30,000円</b> 「検定料の振込みについて」に記載されている振込み方法等を熟読の上、添付されている本学所定の納付書に必要事項を記入して、納付してください。また、出願に際しては「検定料納付確認票」に振込金(兼手数料)受取書を添付して提出してください。(入学検定料は返還しません。)
⑩ 受験許可書	在職者は、募集要項に添付されている本学所定の用紙に所属長が証明したものを提出してください。 (出願資格審査で認定された者は、提出を要しません。)

### (3) 出願資格の認定

出願資格に定める(7)、(8)で出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請してください。

#### 1 申請時期

前期試験 平成21年7月13日(月)から平成21年7月17日(金)まで

後期試験 平成21年12月7日(月)から平成21年12月11日(金)まで

午前9時から午前5時まで。(郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院医学研究科(修士課程)出願資格審査申請書在中」と明記の上、申請期間内に必着のこと。)

#### 2 申請書類

(1) 出願資格審査申請書(本学所定の用紙)

(2) 志望理由書(本学所定の用紙(様式)により提出してください。)

(3) 受験許可書(在職者は、募集要項に添付されている本学所定の用紙に所属長が証明したものを提出してください。)

#### 3 出願資格審査の方法

申請書類により行う。ただし、必要と認められたものについては、口述審査を行う。

#### 4 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により郵送により通知する。

## 4 外国人留学生の取扱い

### (1) 出願資格

ア 外国において、学校教育法における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者

イ 外国において、学校教育法における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

ウ 本学大学院が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

### (2) 出願書類

国外からの出願者は、日本国内在住の身元保証人をとおして書類を提出すること。

なお、出願資格のイ、ウで出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、3の(3)に定める申請をすること。

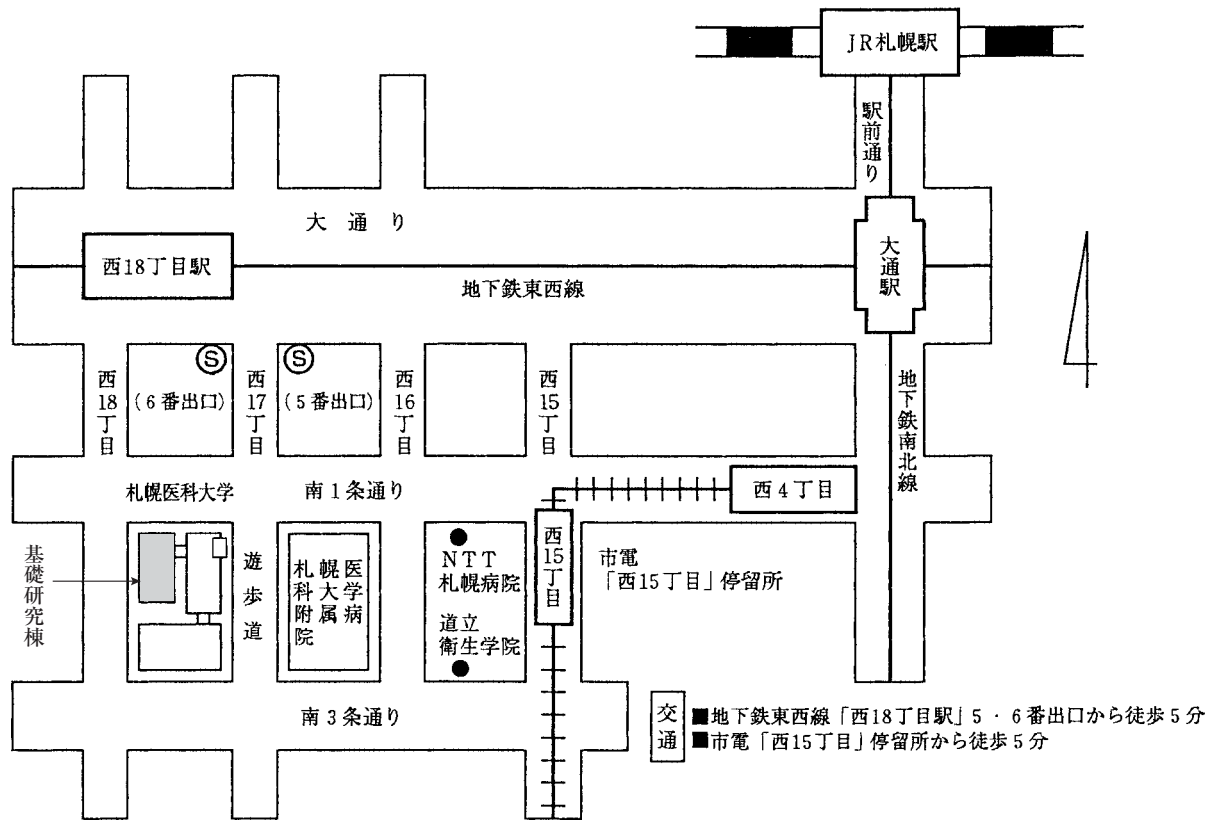
① 入学願書	本学所定の用紙を使用してください。〔日本語で作成〕
② 卒業(見込み)証明書	最終学歴のものを提出してください。
③ 成績証明書	最終学歴のもので、厳封されたものを提出してください。
④ 志望理由書	本学所定の用紙(様式)により提出してください。
⑤ 健康診断書	本学において、受験の際に特別な配慮が必要であるかを判断するため、次の要件に該当する者は、本学所定の用紙により健康診断書を提出してください。 ア 両眼矯正視力の和が0.08以下の者及び失明にいたる重篤な眼疾患を有する者 イ 両耳の聴力レベルが90デシベル以上の者 ウ 上記以外で、受験上、特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者
⑥ 受験票・写真票	本学所定の用紙を使用し、写真(3ヵ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの縦4cm×横3cm)を貼付してください。
⑦ 外国人登録済証明書・パスポートの写し	現に日本に在住している者は、市区町村長の発行する外国人登録済証明書(在留資格が明示されているもの)を提出してください。 国外からの出願者は、パスポートの写しを提出してください。
⑧ 返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定型封筒(長形3号)に志願者の氏名及び送付先住所を記入し、240円切手を貼付してください。 (速達を希望する場合は、さらに270円切手を貼ってください。)
⑨ 入学検定料	〔国費外国人(研究)留学生の場合は不要です。〕 <b>30,000円</b> 「検定料の振込みについて」に記載されている振込み方法を熟読の上、添付されている本学所定の納付書に必要事項を記入して、納付してください。 また、出願に際しては「検定料納付確認票」に振込金(兼手数料)受取書を添付して提出してください。(入学検定料は返還しません。)

## 5 試験日、試験科目及び場所

試験日	試験科目	時間	場所
前期試験 平成21年9月2日(水)	英語	10:00～11:30	札幌医科大学 基礎研究棟 5階共用会議室
後期試験 平成22年2月5日(金)	面接(口頭試問を含む)	13:00～	札幌医科大学

※ 注 受験者は、試験当日午前9時45分までに受付を済ませてください。

## 札幌医科大学案内図



## 6 合格者の発表

**前期試験 平成21年9月25日(金)**

**後期試験 平成22年2月26日(金)** 午前10時に大学東玄関に掲示するほか、本人に通知します。

## 7 入学手続 (詳細は合格発表後に改めて通知します。)

### (1) 受付期間

平成22年3月3日(水)から平成22年3月10日(水)まで

午前9時から午前5時まで。(郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院医学研究科(修士課程)入学書類在中」と明記の上、申請期間内に必着のこと。)

### (2) 入学手続書類

戸籍抄本	入学前3ヵ月以内に作成のもの1通
誓約書	連帯保証人連署の本学所定のもの。(連帯保証人は、父母又は学費支給者等とします。)
入学料	282,800円(入学料は変更されることがあります。)なお、国費外国人(研究)留学生の場合は不要です。
預金口座振替依頼書	授業料の引き落とし口座



## 8 授業料

平成22年度は、年額535,800円(授業料は変更されることがあります。)

年額の2分の1相当額を前期(4月)・後期(10月)の2期に分けて納付

なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

## 9 個人情報の取り扱いについて

本研究科では、出願の際に提出された入学願書等の書類に記載されている個人情報については、入学者選抜(出願資格審査を含む)、合格発表、入学手続き及び入学後の連絡事項を行う目的のためのみに利用します。

## 10 書類の提出及び問い合わせ先

出願書類、入学手続書類の提出及び学生募集要項、大学院に関する各種照会は、学務課主査までお問い合わせください。

〒 060-8556 札幌中央区南1条西17丁目

札幌医科大学 事務局学務事務部学務課 大学院主査 (大学東棟2F)

電 話 (011) 611-2111 内線 2177

F A X (011) 611-2219

# 札幌医科大学大学院医学研究科医科学専攻修士課程の概要

## 1 目 的

本学医学研究科医科学専攻修士課程は、医療に関連する分野、自然科学ならびに人文、社会科学分野等の大学教育を受けた学生を対象として、医学・医療についての専門的かつ高度な知識を教授し、幅広い医学知識と高い見識を有する専門的職業人を養成し地域の医療の高度化を図ることを目的として設置する。同時に、深い医学知識をも兼ね備え持つ研究者を育成し、医学・医療の分野を含めた様々の分野に送り出し、それぞれの分野における研究の多様化・活性化・高度化とさらなる飛躍を押し進めることを目的とします。

## 2 学生定員

入学定員 10名      収容定員20名

## 3 修業年限

2 年（在学期間は、4年を越えることができません。）

## 4 修了要件

本研究科修士課程に2年以上在学し、専攻の所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本大学院医学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること

## 5 学 位

修 士（医 科 学）

## 6 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数	
			必 修	必修選択
一 般 教 育 科 目	生体機能形態学講義	1	2	
	生体機能形態学演習	1～2		4
	病態学講義	1	1	
	病態学演習	1～2		4
	臨床医学講義	1	2	
	臨床医学演習	1～2		4
	社会医学講義	1	2	
	社会医学演習	1～2		4
	生体情報学講義	1	1	
	生体情報学演習	1～2		4
専 門 教 育 科 目	放射線防護医療学講義	1	2	
	放射線防護医療学演習	1～2		4
	神経科学・リハビリテーション医学講義	1	2	
	神経科学・リハビリテーション医学演習	1～2		4
	健康行動科学講義	1	1	
	健康行動科学演習	1～2		4
	臨床研究科学講義	1	1	
	臨床研究科学演習	1～2		4

科目 区分	授業科目の名称	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数	
			必 修	必修選択
特別 研究 科目	特別研究・分子細胞生物学	1～2		12
	特別研究・生体情報形態学	1～2		12
	特別研究・ゲノム医科学	1～2		12
	特別研究・分子医学・遺伝子治療学	1～2		12
	特別研究・臓器発生・再生医学	1～2		12
	特別研究・腫瘍免疫学	1～2		12
	特別研究・腫瘍病理学	1～2		12
	特別研究・臨床病態学	1～2		12
	特別研究・消化器分子制御医学	1～2		12
	特別研究・循環腎機能病態学	1～2		12
	特別研究・呼吸機能制御医学	1～2		12
	特別研究・呼吸循環機能治療学	1～2		12
	特別研究・視覚機能制御医学	1～2		12
	特別研究・皮膚・腫瘍制御医学	1～2		12
	特別研究・外科腫瘍学・消化器外科治療学	1～2		12
	特別研究・口腔機能治療学	1～2		12
	特別研究・医療人間学	1～2		12
	特別研究・環境保健予防医学	1～2		12
	特別研究・地域保健予防医学	1～2		12
	特別研究・法医学・アルコール医学	1～2		12
	特別研究・精神機能病態学	1～2		12
	特別研究・臨床疫学	1～2		12
	特別研究・分子解析学	1～2		12
	特別研究・病態分子情報学	1～2		12
	特別研究・分子医化学	1～2		12
	特別研究・放射線防護学	1～2		12
	特別研究・リハビリテーション学	1～2		12
	特別研究・整形外科学	1～2		12
	特別研究・中枢神経機能治療学	1～2		12
	特別研究・神経・筋機能病態学	1～2		12
	特別研究・健康行動科学	1～2		12
	特別研究・医療薬学	1～2		12
	特別研究・脳神経機能薬理学	1～2		12
特別研究・生体危機管理学	1～2		12	
特別研究・放射線腫瘍学・放射線医学物理学	1～2		12	
特別研究・腎・尿路・生殖器治療学	1～2		12	
特別研究・脳神経機能学	1～2		12	
特別研究・細胞機能情報学	1～2		12	
特別研究・生体機能構造学	1～2		12	

## 7 履修方法

修士課程教育は1年間を2学期制として前期と後期にわけると。「講義」は一般教育科目と専門科目からなり、一般教育科目講義では生体機能形態学2単位、病態学1単位、臨床医学2単位、社会医学2単位、生体情報学1単位から構成されいずれも必修である。専門科目講義は放射線防護医療学2単位、神経科学・リハビリテーション学2単位、健康行動科学1単位、臨床研究科学1単位から成り、必修とする。

「演習」は選択必修であり半期の履修で1単位とし、2年間に1科目以上の科目で4単位以上を必修選択する。特別研究を円滑にすすめるため、特別研究で選択した科目は演習でも3単位以上習得する。広い分野で幅広い知識を習得することを希望する場合には4単位を超えて選択習得することも可能である。

「特別研究」は選択必修で12単位である。

以上の科目について1年前期では「講義」14単位と演習1単位を、1年後期から2年後期までは「演習」3単位と「特別研究」12単位を選択習得し、計30単位を習得する。「演習」と「特別研究」は募集要項に掲載する修士学生を募集する講座と教室の中から選択

## 8 医科学専攻(修士課程)の研究内容一覧

分野名	指導教員	主たる研究内容
分子細胞生物学	吉田 幸一 教授	1 がんの発生と進行に関わるETS遺伝子の研究
連絡先 E-mail <a href="mailto:kyoshida@sapmed.ac.jp">kyoshida@sapmed.ac.jp</a>		2 線虫類の系統・進化・分類・生態に関する研究 3 海洋無脊椎動物の正常および癌細胞の機能制御に関する研究
生体情報形態学	辰巳 治之 教授	1 組織・細胞の超微形態学的及び三次元的解析及び統合化システムの開発とその応用
連絡先 E-mail <a href="mailto:tatsumi@sapmed.ac.jp">tatsumi@sapmed.ac.jp</a>		2 神経培養による神経細胞の特性の解析 3 選択的神経標識法と超微形態解析法を用いた、神経回路網構築のメカニズムの解析 4 生命科学研究の成果の社会的還元としての戦略的防衛医療構想の実現 a) ゼロクリック・ユビキタスセンサーネットワークによる健康管理システムの開発・応用 b) Evidence-Based Tailor-Made Info-Medicine「情報薬」の開発とその応用
ゲノム医学	時野 隆至 教授	1 悪性腫瘍の発症機構の解明をめざした分子遺伝学的および分子生物学的研究
連絡先 E-mail <a href="mailto:tokino@sapmed.ac.jp">tokino@sapmed.ac.jp</a>		2 がん抑制遺伝子p53の機能解明に関する研究 3 がん細胞における細胞周期異常の分子レベルでの解明をめざした研究 4 ヒトゲノム解析を利用したがんの遺伝子診断、個別化治療への展開および応用をめざした研究
分子医学・遺伝子治療学	濱田 洋文 教授	STAABプロジェクト： 肺癌、前立腺癌、メラノーマ、多発性骨髄腫など、難治性癌から対象を選び、スーパー標的抗体(STAAB)を作製し、標的化遺伝子治療の開発を目指す。 難病の治療に役立つようなオリジナルな抗体とそれを用いた新規治療法実用化につながる基盤データを、自らの手で樹立・発見することが目標。
連絡先 E-mail <a href="mailto:bhamada@sapmed.ac.jp">bhamada@sapmed.ac.jp</a>		
臓器発生・再生医学	三高 俊広 教授	1 肝幹・前駆細胞の増殖・分化の機序の研究
連絡先 E-mail <a href="mailto:tmitaka@sapmed.ac.jp">tmitaka@sapmed.ac.jp</a>		2 体外で組織を作る研究 3 細胞移植による組織再生の研究 4 人工肝臓研究 5 細胞外基質と組織・臓器形成の研究
腫瘍免疫学	佐藤 昇志 教授	1 癌の特異的免疫機構と癌ワクチン開発、癌ワクチン製薬化
連絡先 E-mail <a href="mailto:nsatou@sapmed.ac.jp">nsatou@sapmed.ac.jp</a>		2 リンパ球抗原、機能と分子免疫学、腫瘍化の分子機構 3 免疫寛容の分子機構、免疫記憶の分子機構 4 熱ショック蛋白に代表される分子シャペロンの機能の分子病理 5 抗原の処理、提示と分子シャペロン、自然免疫による特異免疫活性化機構 6 免疫遺伝学、遺伝子診断 7 シグナル伝達機構とアポトーシス

腫瘍病理学	長谷川 匡 教授	1. 各臓器の悪性腫瘍の病理形態像と免疫組織化学的および微細構造学的特徴
連絡先 E-mail	<a href="mailto:hasetada@sapmed.ac.jp">hasetada@sapmed.ac.jp</a>	2. 各臓器の悪性腫瘍の遺伝子学的特徴
		3. 各臓器の悪性腫瘍の前駆病変
		4. 各臓器の悪性腫瘍の悪性度、予後を規定する因子および治療標的分子
		5. 新しい診断技術の開発
臨床病態学	渡邊 直樹 教授	1 生体のストレス応答機構に関する研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:watanabn@sapmed.ac.jp">watanabn@sapmed.ac.jp</a>	2 分子機能解析を基盤とした癌診断法の開発に関する研究
		3 感染症の遺伝子タイピングと院内感染対策への応用に関する研究
		4 新たな輸血検査法の開発に関する研究
		5 生体内微量物質の高感度検出法の開発に関する研究
		6 3次元心エコーを用いた心機能評価法の開発に関する研究
消化器分子制御医学	篠村 恭久 教授	1 最新遺伝子情報による消化器疾患の新しいオーダーメイド医療の構築
連絡先 E-mail	<a href="mailto:shinomura@sapmed.ac.jp">shinomura@sapmed.ac.jp</a>	2 消化器癌における21世紀の遺伝子診断・治療
		3 癌の新しい分子標的治療の開発
		4 癌の細胞内情報伝達系とアポトーシス
		5 自己免疫疾患の成因解明
		6 自己免疫疾患の新しい治療法の開発
循環腎機能病態学	島本 和明 教授	1 高血圧症の成因と病態
連絡先 E-mail	<a href="mailto:simamoto@sapmed.ac.jp">simamoto@sapmed.ac.jp</a>	2 腎疾患の成因と水・電解質代謝
		3 糖尿病の成因と病態
		4 メタボリックシンドローム・肥満の成因と心血管疾患との関連
		5 不整脈・虚血性心疾患の新たな診断・治療法
呼吸機能制御医学	高橋 弘毅 教授	1 肺癌の増殖と薬剤感受性に関する研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:htaka@sapmed.ac.jp">htaka@sapmed.ac.jp</a>	2 間質性肺炎・肺線維症の病態、診断、治療に関する研究
		3 呼吸器感染症と肺自然免疫に関する研究
		4 気管支喘息の病態、診断、治療に関する研究
		5 肺・気管支の構造解析と仮想内視鏡検査の開発に関する研究

呼吸循環機能治療学	樋上 哲哉 教授	1 開心術時の心筋保護 2 虚血再灌流による臓器障害における発生機序の解明とその抑制 3 大動脈瘤手術の脳脊髄保護 4 両側内胸動脈を用いた心拍動下のCABG 5 補助循環による重症心不全の治療 6 再生による人工弁の開発 7 心臓血管の再生医療 8 小口径人工血管の開発 9 胸腔鏡による低侵襲呼吸器外科 10 心臓・大血管手術に対する低侵襲手術
連絡先 E-mail	<a href="mailto:higami@sapmed.ac.jp">higami@sapmed.ac.jp</a>	
視覚機能制御医学	大黒 浩 教授	1 網膜変性症の分子病態及び治療研究 2 緑内障における分子病態及び治療研究 3 斜視の臨床病態生理 4 視覚部腫瘍のMRスペクトロスコピー 5 糖尿病性網膜症の分子病態解析
連絡先 E-mail	<a href="mailto:oguro@sapmed.ac.jp">oguro@sapmed.ac.jp</a>	
皮膚・腫瘍制御医学	山下 利春 教授	1 メラノーマの発癌と細胞死過程の分子生物学的研究 2 メラノサイトおよびメラノサイト幹細胞の分化関連遺伝子の研究 3 特異的細胞形質を利用した皮膚がんの早期診断法及び標的分子治療法の確立 4 創傷治療過程の分子生物学的研究 5 紫外線による発癌と色素性乾皮症の遺伝子診断
連絡先 E-mail	<a href="mailto:yamasita@sapmed.ac.jp">yamasita@sapmed.ac.jp</a>	
外科腫瘍学 ・消化器外科治療学	平田 公一 教授	1 遺伝子治療及び幹細胞操作による代謝疾患・固型癌治療 2 既成概念から脱却した新手術法の開発（乳腺・肝・胆・膵癌・胃癌） 3 細胞・臓器移植と温阻血障害・免疫抑制・免疫寛容誘導・遺伝子操作治療 4 乳管・胆管・膵管内癌の悪性度に関する分子生物学研究 5 癌転移機序の解明と癌の個性に関するプロテオミクス、DNAアレイ解析 6 人工臓器を目指した正常上皮細胞（肝・膵）の長期培養、移植 7 癌免疫療法の臨床的実践 8 臓器保存（肝・膵）
連絡先 E-mail	<a href="mailto:a.narita@sapmed.ac.jp">a.narita@sapmed.ac.jp</a>	
口腔機能治療学	平塚 博義 教授	1 顎口腔領域の形態と機能異常の改善に関する研究 2 顎変形症の術式改良に関する研究 3 口腔扁平上皮癌の遺伝子異常に関する研究 4 口腔癌の免疫療法 5 口腔癌の新規癌抗原の同定と臨床応用に関する研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:hiratuka@sapmed.ac.jp">hiratuka@sapmed.ac.jp</a>	

医療人間学	今井 道夫 教授	1 医学哲学
連絡先 E-mail	<a href="mailto:imaim@sapmed.ac.jp">imaim@sapmed.ac.jp</a>	2 生命倫理学
		3 医学思想史
		4 医学教育論
環境保健予防医学	小林 宣道 教授	1 ウイルスの抗原型(抗原性規定遺伝子)の多様性の解析
連絡先 E-mail	<a href="mailto:nkobayas@sapmed.ac.jp">nkobayas@sapmed.ac.jp</a>	2 ウイルスの病原遺伝子の多様性の解析
		3 ウイルスの遺伝子学的多様性の形成メカニズムの研究
		4 細菌の遺伝子型別法の開発・検討
		5 細菌の薬剤耐性遺伝子の多様性の研究
		6 細菌の病原因子遺伝子の多様性の研究
地域保健予防医学	森 満 教授	1 地域における高年齢者の保健医療福祉の向上に関する研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:mitsurum@sapmed.ac.jp">mitsurum@sapmed.ac.jp</a>	2 地域における中・高年齢者の健康づくりに関する研究
		3 がん予防のための宿主要因と環境要因の交互作用に関する分子疫学的研究
		4 循環器疾患、特定疾患、その他の疾患の予防医学的、疫学的研究
		5 職場におけるストレスと精神的健康度に関する予防医学的、疫学的研究
法医学・アルコール医学	松本 博志 教授	1 死因究明制度のあり方
連絡先 E-mail	<a href="mailto:hmatsumo@sapmed.ac.jp">hmatsumo@sapmed.ac.jp</a>	2 飲酒運転の実態調査と予防策
		3 新規飲酒マーカーの探索
		4 突然死を来す疾患の遺伝子多型診断
精神機能病態学	齋藤 利和 教授	1 精神疾患における脳神経回路網の異常と、その修復・再生機構に関する神経生物学的研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:tosaito@sapmed.ac.jp">tosaito@sapmed.ac.jp</a>	2 神経幹細胞を用いた精神疾患に対する新たな治療法の開発に関する研究
		3 視覚的ワーキングメモリ課題を用いたヒト高次認知機能に関する神経心理学的研究
		4 精神保健に対する社会精神医学的研究
臨床疫学	山本 和利 教授	1 バイアスと偶然を引き起こす要素の解析に関する研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:wari@sapmed.ac.jp">wari@sapmed.ac.jp</a>	2 診断、リスクと予後、治療、害、予防についての定量的評価に関する研究
		3 医学的決断分析に関する研究
		4 メタ分析、臨床経済分析に関する研究
分子解析学	賀佐 伸省 教授	1 新規物質の検索と構造解析
連絡先 E-mail	<a href="mailto:gasa@sapmed.ac.jp">gasa@sapmed.ac.jp</a>	2 各種機器による生体物質の高次構造の解析と生体反応との関連
		3 生体分子の構造解析のためのその他の機器分析法
分子医化学	黒木 由夫 教授	1 生理機能発現の分子機構
E-mail	<a href="mailto:kurokiy@sapmed.ac.jp">kurokiy@sapmed.ac.jp</a>	2 生体防御 - 自然免疫の分子機構
		3 糖鎖生物学
		4 病態生化学
		5 蛋白質の構造・機能相関

放射線防護学	高田 純 教授	1 核災害における放射線防護法の研究
連絡先 E-mail	<a href="mailto:juntakada@sapmed.ac.jp">juntakada@sapmed.ac.jp</a>	2 世界の核ハザードおよび線量調査 3 急性放射線障害に対する防護法の研究 4 後障害リスクの予測および回避法の研究 5 線量評価法の研究 6 緊急被曝医療の研究 7 放射線医学物理
病態分子情報学	小海 康夫 教授	1 質量分析などを用いたタンパク質の発現解析
連絡先 E-mail	<a href="mailto:kokai@sapmed.ac.jp">kokai@sapmed.ac.jp</a>	2 プロテオミクスによるタンパク質の精製と同定の理論と実際 3 病態モデルを用いたバイオマーカー探索の理論と実際 4 疾患モデルからみた病態の概念とその解析
リハビリテーション学	石合 純夫 教授	1 高次脳機能障害の定量的評価と認知リハビリテーション
連絡先 E-mail	<a href="mailto:ishiai@sapmed.ac.jp">ishiai@sapmed.ac.jp</a>	2 動作、行為、行動の障害と因果・メカニズム論 3 脳卒中における運動障害の時系列的動作解析 4 慢性疼痛に対するリハ・アプローチ 5 神経筋疾患に対する車いすシーティング
整形外科学	山下 敏彦 教授	1 痛みの発生メカニズムとその対策
連絡先 E-mail	<a href="mailto:tyamasit@sapmed.ac.jp">tyamasit@sapmed.ac.jp</a>	2 悪性骨軟部腫瘍に対する免疫療法の開発 3 靭帯・腱のバイオメカニクス 4 組織再生医学(骨再生・脊髄再生) 5 骨代謝(骨粗鬆症) 6 関節・脊椎の感覚神経生理学 7 スポーツ医学
中枢神経機能治療学	寶金 清博 教授	1 幹細胞
連絡先 E-mail	<a href="mailto:houkin@sapmed.ac.jp">houkin@sapmed.ac.jp</a>	2 神経移植
神経・筋機能病態学	下濱 俊 教授	1 アルツハイマー病の病態解明と新たな診断法・治療法の開発
連絡先 E-mail	<a href="mailto:shimoha@sapmed.ac.jp">shimoha@sapmed.ac.jp</a>	2 神経変性疾患の分子病態の解明と治療研究 3 免疫介在性神経疾患の病態解明と治療研究 4 神経内科疾患の神経生理学的研究 5 脳血管障害の臨床と医療システムの開発
健康行動科学	澤田 幸展 教授	1 心臓血管系の心理生理学
連絡先 E-mail	<a href="mailto:sawaday@sapmed.ac.jp">sawaday@sapmed.ac.jp</a>	2 循環動態の無侵襲計測 3 データの解釈モデル 4 血圧反応性仮説 5 高血圧に対する行動的処置法



医療薬学	宮本 篤 教授	1 薬物体内動態関連遺伝子の多型解析研究
連絡先	E-mail <a href="mailto:atsushi@sapmed.ac.jp">atsushi@sapmed.ac.jp</a>	2 薬剤誘発性QT延長症候群のリスク因子研究
		3 老化及び老化に伴って生じる疾病での情報伝達変異研究
脳神経機能薬理学	堀尾 嘉幸 教授	1 ヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の神経幹細胞の分化における働き
連絡先	E-mail <a href="mailto:horio@sapmed.ac.jp">horio@sapmed.ac.jp</a>	2 ヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の細胞ストレス耐性増強作用と疾患
		3 ヒストン脱アセチル化酵素SIRT3の機能
		4 細胞死におけるCa <sup>2+</sup> の役割の解明
		5 細胞内Ca <sup>2+</sup> 動員機構の解明
生体危機管理学	浅井 康文 教授	1 PCPSを用いた新しい心肺脳蘇生法に関する研究
連絡先	E-mail <a href="mailto:asai@sapmed.ac.jp">asai@sapmed.ac.jp</a>	2 脳低温療法に関する臨床並びに実験的研究
		3 高度侵襲時の免疫応答に関する研究
		4 多発外傷、重症熱傷時の病態生理に関する研究
		5 敗血症の病態生理と治療に関する研究
		6 急性肺障害の病態生理と治療に関する研究
		7 多臓器不全の病態生理と治療に関する研究
		8 災害医療に関する研究
放射線腫瘍学・放射線医学物理学	晴山 雅人 教授	1 放射線医学物理学に関する研究
連絡先	E-mail <a href="mailto:hareyama@sapmed.ac.jp">hareyama@sapmed.ac.jp</a>	2 高精度放射線治療に関する研究
		3 放射線治療の品質管理に関する研究
		4 画像誘導型放射線治療に関する研究
		5 画像誘導型小線源放射線治療に関する研究
腎・尿路・生殖器治療学	塚本 泰司 教授	1 男子性機能・男子不妊症の成因と治療の研究
連絡先	E-mail <a href="mailto:taijit@sapmed.ac.jp">taijit@sapmed.ac.jp</a>	2 泌尿生殖器腫瘍学／癌免疫
		3 前立腺肥大症の発生機序と尿水力学の研究
		4 尿路・性器感染症の疫学、発生機序と治療の研究、特に尿路粘膜免疫学
		5 泌尿器再生・再建医学
		6 移植免疫
脳神経機能学	長峯 隆 教授	1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明
連絡先	E-mail <a href="mailto:nagamine@sapmed.ac.jp">nagamine@sapmed.ac.jp</a>	2 運動制御に関わる中枢神経機構の解明
		3 学習の神経機構の解明
		4 海馬シナプスの伝達機構の解明
		5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
細胞機能情報学	當瀬 規嗣 教授	1 イオンチャネルの構造機能連関
連絡先	E-mail <a href="mailto:touse@sapmed.ac.jp">touse@sapmed.ac.jp</a>	2 疾病の原因としてのイオンチャネル機能異常
		3 生理的機能でのイオンチャネルの役割
		4 発生期心筋細胞のカルシウム動態の変化
生体機能構造学	藤宮 峯子 教授	1 再生医学と変性疾患の解明のための幹細胞研究
連絡先	E-mail <a href="mailto:fujimiya@sapmed.ac.jp">fujimiya@sapmed.ac.jp</a>	2 脳腸相関
		3 骨格標本を用いた生物人類学的研究
		4 バイオメカニクス研究
		5 腸管粘膜の修復・再生のための骨髄幹細胞研究

平成 22 年 度  
札幌医科大学大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)

# 入 学 願 書

※受付番号	第	号	※受付月日	月	日
<p>貴大学大学院医学研究科へ入学したいので、所定の書類を添えて出願いたします。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">(フリガナ)</p> <p>札幌医科大学大学院医学研究科長 様</p> <p style="text-align: right;">出願者氏名 印</p> <p style="text-align: right;">生年月日 昭和 年 月 日 男・女</p>					
出願種別	1. 一般		2. 社会人		3. 出願資格審査合格
志望する専攻分野	第1志望	分野	第2志望	分野	
出願資格	大学 学部 学科		昭和 年 月 日	卒業 卒業見込	
	短期大学(部) 専攻(科)		昭和 年 月 日	修了 修了見込	
上記以外の出願資格	(最終学校名及び卒業年月日を記入してください。)				
本籍地	都 ・ 道 ・ 府 ・ 県				
現住所	〒 ( ) ー				
連絡先	本人	通知を受ける場所	〒 ( ) ー		
	父母等	現住所	〒 ( ) ー		
		(フリガナ)氏名		本人との関係	
学歴	年 ・ 月	高等学校卒業			
	・				
	・				
	・				
	・				
職歴	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

(注) 志願者は、※印欄を除く該当欄に記入し、所要の文字を○で囲んでください。



# 志 望 理 由 書

氏 名	
-----	--

札幌医科大学大学院医学研究科(修士課程)

--

注: 本様式に直接記入するか、本様式(A4判)に準じてパソコン等により作成すること。



平成22年度  
札幌医科大学大学院医学研究科  
入学出願者健康診断書

受付番号 ※		受験番号 ※	
フリガナ			現住所
氏名			
生年月日	昭和 年 月 日生	男・女	
診 断 事 項			
視力	左 ・ ( ・ ) 右 ・ ( ・ )		就学上配慮すべき事項
胸部エックス線検査	直接	間接	
	平成 年 月 日撮影 フィルム番号		
	所見		
主な既往歴と	罹患時の年齢	主な現疾患	(入学後の健康管理上注意すべき疾病の有無とその内容)
<p>診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>所在地</p> <p>医療機関名</p> <p>医師の氏名</p>			



記入上の注意

- 1 ※印の欄は記入しないでください。
- 2 視力の( )は矯正視力を記入してください。
- 3 主な既往歴の欄は、疾患名と罹患時の年齢を記入してください。
- 4 出願前3か月以内に発行された診断書に限ります。
- 5 この診断書は、診断医が厳封(開封無効)し、受診者に交付してください。



平成22年度

札幌医科大学大学院医学研究科入学試験(修士課程)

受 験 票	
※	
受験番号	
氏 名	
志望する 専攻分野	第1志望
	第2志望
<試験日程> 平成22年2月5日(金) 10:00～11:30 外国語(英語)I・II 13:00～13:30 専攻主科目(第1志望) 13:40～14:10 専攻主科目(第2志望) ◇辞書持ち込み可。電子辞書は不可。 ◇試験当日は必ずこの受験票を持参すること。 ◇裏面に記載の受験上の注意を確認しておくこと。	写真貼付 縦4cm×横3cm
<外国語試験会場> 札幌医科大学基礎研究棟5階共用会議室 札幌市中央区南1条西17丁目 電話011-611-2111(内線21177)	

- ・ ※印欄は記載しないでください。
- ・ 志望する専攻分野欄は、第2志望がない場合は、第1志望のみ記入のこと

平成22年度

札幌医科大学大学院医学研究科入学試験(修士課程)

写 真 票	
※	
受験番号	
(フリガナ) 氏 名	
志望する 専攻分野	第1志望
	第2志望
<写真貼付> 縦4cm×横3cm	



## 受験上の注意

- 1 試験当日、午前は9時45分までに基礎研究棟5階共用会議室で受付を済ませること。
- 2 各科目の試験開始5分前までに、試験室に入室すること。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、開始後30分以内に限り受験を認めず。
- 4 試験室では机上の番号と受験番号が同一であることを確認して着席すること。
- 5 机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計、辞書以外の所持品を置かないこと。
- 6 試験室に入室してから試験終了時までの間、退室は認めません。試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、監督員の指示に従うこと。

## 検定料の振込について

### 振込方法

- 1 検定料30,000円は、本学募集要項に添付されている振込用紙に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局の窓口で、出願手続き前までにお振り込みください。
- 2 振込用紙(払込取扱票、振替払込請求書兼受領証、振替払込受付証明書)の「ご依頼人欄」を、黒のボールペンで正確に記入してください。
- 3 振込後「振替払込受付証明書」を右の検定料納付確認票に貼付して、出願書類と一緒に提出してください(受付郵便局の収納印のないものは無効)。

### 留意事項

- 1 出願書類を大学窓口に提出する際、郵便普通為替証書あるいは現金を納付して手続きをすることはできませんので、ご注意ください。
- 2 検定料が振り込まれていない場合、「振替払込受付証明書」が貼付されていない場合、「振替払込受付証明書」に受付郵便局の収納印がない場合は、出願書類の受理はできません。
- 3 ATM(現金自動預入払出機)、インターネットバンキング、モバイルサービス等での振込はできません。ご了承ください。

## 札幌医科大学大学院医学研究科

### 入学試験 検定料納付確認票

※受験番号	
氏名	
「振替払込受付証明書」貼付欄	

注)※印欄は大学側で使用するので、記入しないでください。



# 受 験 許 可 書

氏 名

生年月日 昭和 年 月 日

上記の者が、平成 22 年度札幌医科大学大学院医学研究科（修士課程）の入学試験を受験することを許可します。

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

印



平成 22 年 度  
札幌医科大学大学院医学研究科(修士課程)  
**出願資格審査申請書**

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

(フリガナ)

出願者氏名 印

生年月日 昭和 年 月 日 男・女

貴大学大学院医学研究科(修士課程)の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

志望する専攻分野	第1志望					分野
	第2志望					分野
学 歴 (高等学校 卒業以降 から記入)	学校 科 大学 科					
	昭和・平成 年 月 日 入学					昭和・平成 年 月 日 卒業
	学校 科 大学 科					
	昭和・平成 年 月 日 入学					昭和・平成 年 月 日 卒業
	学校 科 大学 科					
	昭和・平成 年 月 日 入学					昭和・平成 年 月 日 卒業
資 格	昭和・平成 年 月 日					
	昭和・平成 年 月 日					
研 究 歴	期 間		最 終 学 校 卒 業 後 の 経 歴			
	昭・平 年 月 ~ 昭・平 年 月					
	昭・平 年 月 ~ 昭・平 年 月					
	昭・平 年 月 ~ 昭・平 年 月					
	昭・平 年 月 ~ 昭・平 年 月					
	昭・平 年 月 ~ 昭・平 年 月					
	昭・平 年 月 ~ 昭・平 年 月					
現 住 所	〒 ( ) —					
審 査 結 果 通 知 先	〒 ( ) —					



